

ヒト対象研究「ヨーグルトの継続摂取による免疫機能検証研究（研究番号：ME-008-02）」に参加された方の検体を用いた研究実施のお知らせ

研究責任者 所属：株式会社 明治 研究本部
氏名：利光 孝之

この度、ヒト対象研究「ヨーグルトの継続摂取による免疫機能検証研究（研究番号：ME-008-02、研究期間：2023年9月～2025年3月）」（以下、元試験）に参加された方の唾液検体を用いて、下記の研究（以下、この研究）を、明治ヒト対象研究倫理審査委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

1. 対象となる方

2023年開始の元試験に参加された方で、この研究用に使用可能な唾液検体がある方。

2. 研究課題名

研究識別番号：2025-030

研究課題名：既存検体を用いたヨーグルトの摂取と唾液中 IgA に関する探索研究

3. 研究実施体制

【研究機関】

株式会社 明治 研究本部

研究機関の長：株式会社 明治 代表取締役社長 八尾 文二郎

研究者等：研究本部 健康科学研究ユニット 免疫・消化管機能研究 G

研究責任者 利光 孝之

研究者 唐 舒宜

【研究協力機関】

株式会社 ケイ・エス・オー

4. この研究の目的、意義

口や鼻などの粘膜の表面には、免疫の働きを助けるイムノグロブリン A (IgA) という抗体があります。これは、感染を防ぐためにとても重要な物質で、食品を通じて免疫の状態を調べるときにも注目されています。感染を防ぐには、IgA の量だけでなく、どんな病原体に対して働くかという「質」も大切です。

以前ご参加いただいた元試験では、ヨーグルトを継続して摂取することで、唾液中の IgA 量が増え、風邪様症状の発症が少なくなることが分かりました。ただし、唾液中にどのよう

な病原体に結合する IgA が増えたのか、また唾液中 IgA 量が増えたことが、実際に風邪様症状の発症を抑えたのかどうかは明らかではありません。

この研究では、風邪の原因となるウイルスに結合する唾液中 IgA の量を調べて、元試験の被験食品を継続摂取することで免疫機能が高まる仕組みや体調を保つこととの関係を詳しく解析することを目的としています。

5. 使用する検体・情報、使用方法

元試験の 0W 検査、4W 後検査、8W 後検査で採取した唾液を使用します。唾液中にコロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの呼吸器に感染するウイルスに結合する IgA がどの程度あるかを研究機関で測定します。また、この研究で得られたデータと組み合わせた解析に使用する目的で、元試験のデータ（血液検査、唾液検査の結果および体調アンケート、QOL アンケートの情報）を使用する可能性があります。

6. 研究に参加される方の負担

この研究は既存検体を使用するため、対象者となるにあたっての負担はありません。

7. 研究期間

この研究は、2026 年 5 月から 2026 年 12 月までの予定で実施されます。唾液検体の分析はこの文書を掲示・公開してから 30 日後に開始いたします。

8. 検体・情報を使用する者の範囲

唾液検体と元試験のデータは研究機関の研究者等が使用します。

9. 検体・情報の管理

この研究で使用する検体と情報は研究責任者を管理責任者として適切に管理いたします。この研究の検体は元試験の ID を使用しますが、皆様の氏名と ID の対応表は、元試験の研究運営機関（株式会社ケイ・エス・オー）にて、パスワードロックをかけた状態で外部と遮断された専用サーバーに電子ファイルとして格納されており、個人情報流出のリスクは最小化されています。

10. この研究の対象になった方よりお申し出があった場合、試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止いたします

この研究の対象となった皆様よりお申し出があった場合、測定の実施前、実施後に関わらず、この研究への検体や情報の利用を停止させていただき、検査データ等は破棄されます。ただし、お申し出があった時点ですでに研究結果が論文等で公表されていた場合、あなたの検査データ等を破棄できないことがあります。

11. 10. のお申し出を受け付ける方法

以下の相談窓口にご連絡ください。

名称：株式会社ケイ・エス・オー

TEL：03-3452-7233（9:00～17:00、土日祝を除く）

MAIL：smo@kso.co.jp

研究管理担当者：三ツ森 望

以上